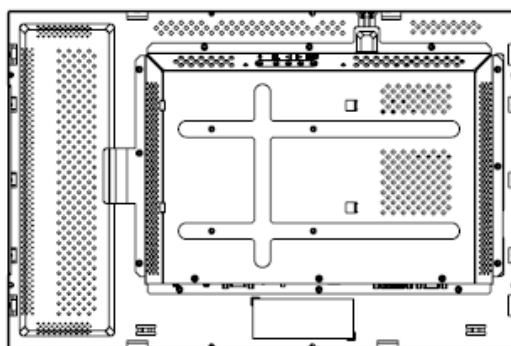
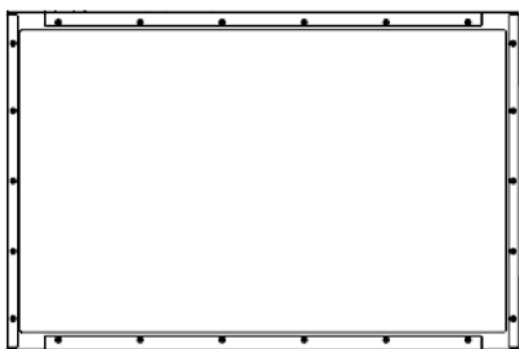




Elo TouchSystems 2240L 22.0型LCDタッチモニター ユーザーガイド

Elo TouchSystems

2240L 22.0型LCDタッチモニター

ユーザーガイド

改訂版C

P/N E713492

Elo TouchSystems

1-800-ELOTOUCH
www.elotouch.com



Copyright © 2008 Tyco Electronics. 無断複写・転載を禁じます。

Elo TouchSystemsの書面による事前の許可なく、本書の内容の一部または全部をいかなる媒体にも、電子、磁気、光学、化学、手動などの（但し、必ずしもこれらに限定されない）方法により複製、送信、転写、情報検索システムに記録すること、あるいは他の言語やコンピュータ言語へ翻訳することなどは禁止されています。

ご注意

本書記載の内容は予告なしに変更することがあります。Elo TouchSystemsでは本書の内容に関して表明あるいは保証はいたしません。特に、市販性、特定目的との適合性についていかなる黙示の保証もしません。Elo TouchSystemsは、本書記載内容を適宜改訂あるいは変更する権利を有します。そのような改訂あるいは変更する際、Elo TouchSystemsはいかなる者にも通知する責任はありません。

商標

IntelliTouch, APR (Acoustic Pulse Recognition), Elo TouchSystems, TE Logo and Tyco Electronics are trademarks.
本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。
Tyco Electronicsは当社の商標以外の商標につき権利を主張することはありません。

注記: 本文書は、英語の原文を日本語に翻訳したものです。原文と翻訳に相違がある場合には、原文の記載事項が優先します。

もくじ

第1章 : はじめに	5
製品概要	5
事前注意事項	5
 第2章 : インストールとセットアップ	6
梱包内容の確認	7
接続方法	8
タッチパネルドライバのインストール	9
モニターの外形寸法	11
モニターの設置と取り付け方向	13
 第3章 : 基本操作	18
タッチモニターの調節	18
オンスクリーンディスプレイ(OSD) 背面スイッチ	19
オンスクリーンディスプレイ(OSD) リモコン(オプション)	21
表示モードのプリセット	25
 第4章 : トラブルシューティング	26
よくある問題の解決方法	26
 付録A : 使用上のご注意	28
タッチモニターのお手入れ／取り扱い	29
警告	30
電気装置および電子装置の廃棄(WEEE) 指令	30
 付録B : 製品仕様	31
製品仕様	32
規制情報	34
ご使用の前に	37
保証	42

はじめに

製品概要

Elo TouchSystems 2240Lタッチモニター(タッチモジュール)はLCD(液晶ディスプレイ)モニターと信頼性の高いタッチパネルを組み合わせた製品です。本製品には以下の特徴があります。

- 22.0型カラー表示アクティブマトリクスTFT、
最大解像度1680 X 1050
- 音響波照合方式(APR)、
超音波表面弾性波方式 (インテリタッチ)、
超音波表面弾性波方式(セキュアタッチ)、
静電容量方式(サーフェース・キャパシティブ)
タッチパネルのいずれかを搭載
- モニターを販売する地域(国)により、アナログ映像入力
のみのモデル、またはアナログ映像入力とデジタル映像入
力の両方に対応したモデルがあります
- APR方式のモデルはUSB接続のみですが、それ以外のタッチ
パネル方式のモデルではUSB接続及びシリアル接続のコンボ
タイプとなります

詳細については弊社のウェブサイトをご覧ください。

www.elotouch.com

事前注意事項

モニター寿命を最長にし、安全に取り扱うために、このユーザーマニュアルの推奨事項であるすべての警告、インストール方法、メンテナンスに従ってください。使用上のご注意については、付録A(29ページ)をご覧ください。タッチモニターをセットアップして電源を入れる前に、このマニュアルの記載事項のすべて、特に第2章(インストールとセットアップ)と第3章(基本操作)をよくお読みください。

2

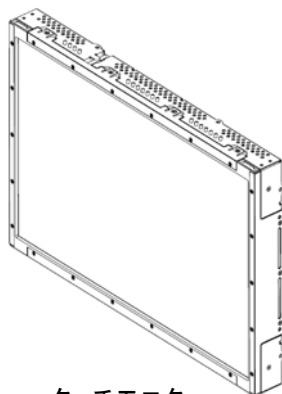
章

インストールとセットアップ

本章ではLCDタッチモニターのセットアップ方法とElo TouchSystemsのドライバソフトウェアのインストール方法について説明しています。

梱包内容の確認

タッチモニター本体及び以下の付属品がそろっていることを確認してください:

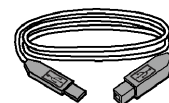


タッチモニター
(OSDコントロール
統合)



シリアル
ケーブル

両方
または
一方



USBケーブル

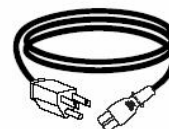


アナログ映像
ケーブル

両方
または
一方



デジタル映像
ケーブル



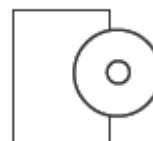
電源ケーブル
(地域によって
ケーブルは異なります)



OSDリモコン(オプション)

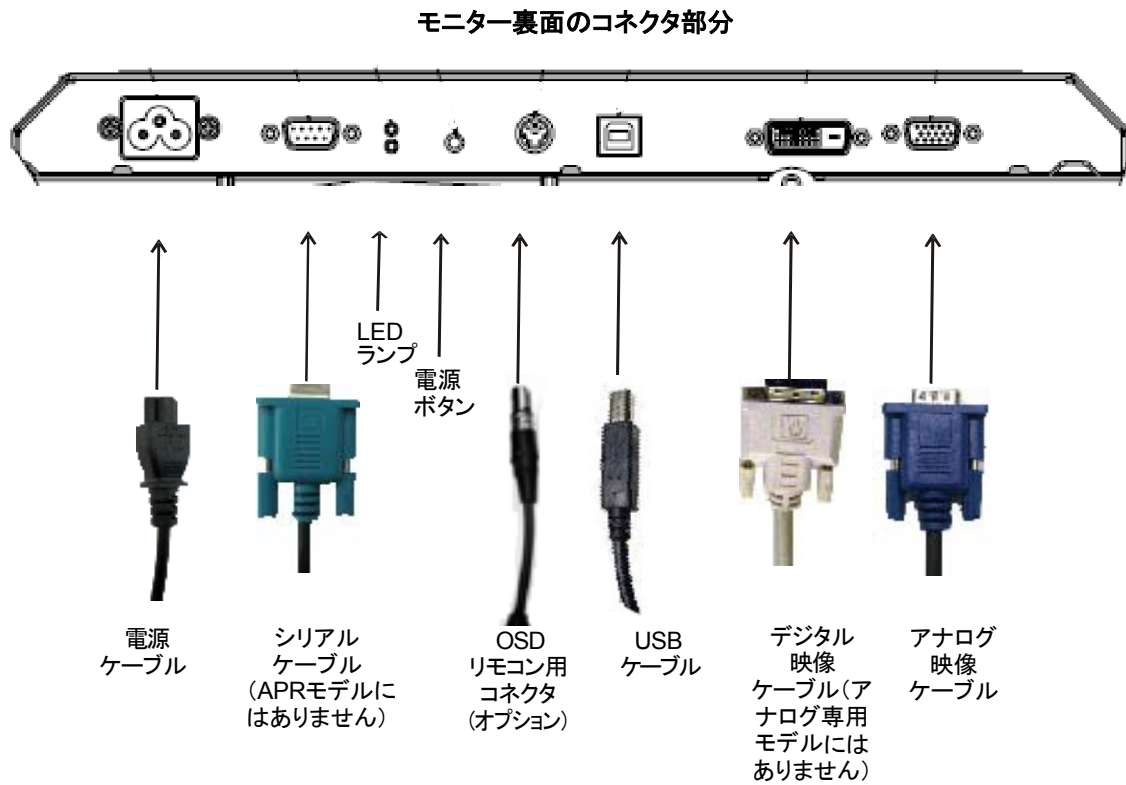


取り付け用ブラケット
(4個)



TouchTools
CD-ROM・クイックイン
ストール
ガイド

接続方法



コンピュータにタッチモニターを接続する方法:

- 1 タッチモニターの裏面に電源ケーブルを接続して、もう一方の端をコンセントに接続してください。
- 2 USBケーブル又はシリアルケーブルのどちらかをモニターの裏面に接続して、もう一方の端をコンピュータに接続してください。

注記: 両方接続しないでください。

- 3 アナログ映像ケーブル又はデジタル映像ケーブルをモニターの裏面に接続して、もう一方の端をコンピュータに接続してください。
- 4 OSDコントローラーとモニターを接続してください。
- 5 電源ボタンを押してモニターのスイッチを入れてください。

タッチパネルドライバのインストール

お求めのElo タッチモニターはプラグアンドプレイに対応しています。Windows が起動するとタッチモニターのビデオ性能にある情報がビデオ表示アダプタに送信されます。Windows がタッチモニターを検出したら表示画面の指示に従って一般的なプラグアンドプレイモニターを選択してください。

Elo TouchSystems ではタッチモニターがお持ちのコンピュータで作動するためのタッチパネルドライバのソフトウェアを提供しています。ドライバは同封のCD-ROMに入っており、以下のOSにて利用できます。

- Windows XP
- Windows 2000
- Windows Me
- Windows 98
- Windows 95
- Windows NT 4.0

ドライバの最新版や他のオペレーティング・システムのドライバ情報については Elo TouchSystems のウェブサイト:

www.elotouch.com/support/downloads/ をご覧ください。

Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98にインストールするには下記の指示に従ってください:

注記: Windows XPとWindows 2000にドライバをインストールする場合、アドミニストレータにアクセスする権利が必要です。

- 1 お持ちのコンピュータのCD-ROMドライブにElo CD-ROMを挿入してください。

Windows XP、Windows 2000、Windows 98、Windows Meが新しいハードウェアの追加ウィザードを開始したら、次の指示に従ってください(開かなかった場合は、ステップ1aから2aに従ってください):

- 2 「Next(次へ)」を選択してください。「デバイスの最適ドライバ(推奨)を検

索」を選択して、「**Next**(次へ)」を選択してください。

- 3 検索場所のリストが表示されたら、「場所の特定」にチェックマークを付けて、「**Browse** (ブラウズ)」を使用してElo CD-ROMの¥EloUSB ディレクトリを選択してください。
- 4 「**Next**(次へ)」を選択してください。Elo TouchSystemsのタッチパネルが検出されたら、もう一度「**Next**(次へ)」を選択してください。
- 5 複数のファイルがコピーされます。指示があったらWindows 98 CD を挿入してください。「**Finish**(終了)」を選択してください。

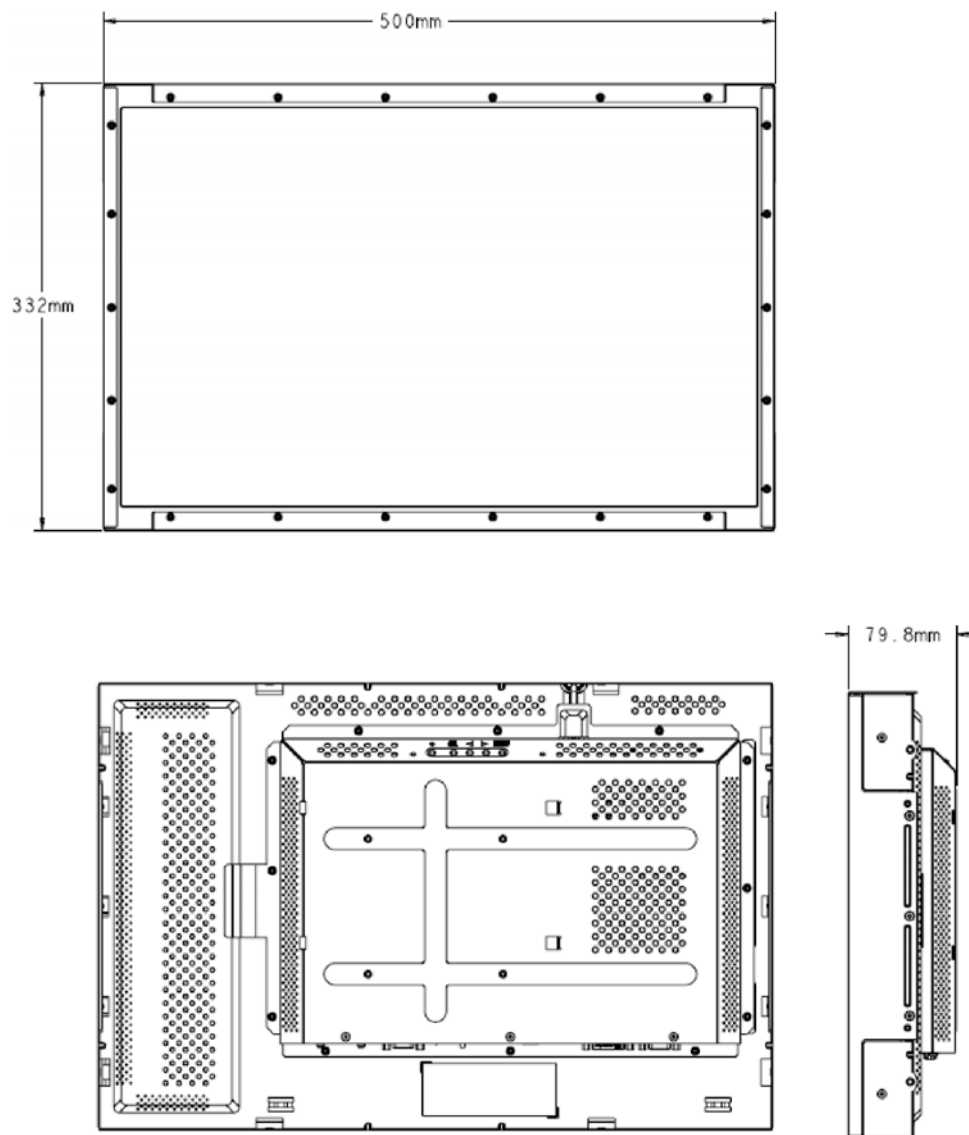
Windows XP、Windows 2000、Windows 98、Windows Meが新しいハードウェアの追加ウィザードを開始しなかったら、次の指示に従ってください:

- 1a コンピュータのCD-ROM ドライブにElo CD-ROM を挿入してください。CD-ROM ドライブの自動起動機能が作動すると、システムが自動的にCDを検出し、プログラム設定を開始します。
- 2a スクリーンの指示に従って、お持ちのWindowsバージョンのドライバ設定をしてください。

自動起動機能が作動しない場合:

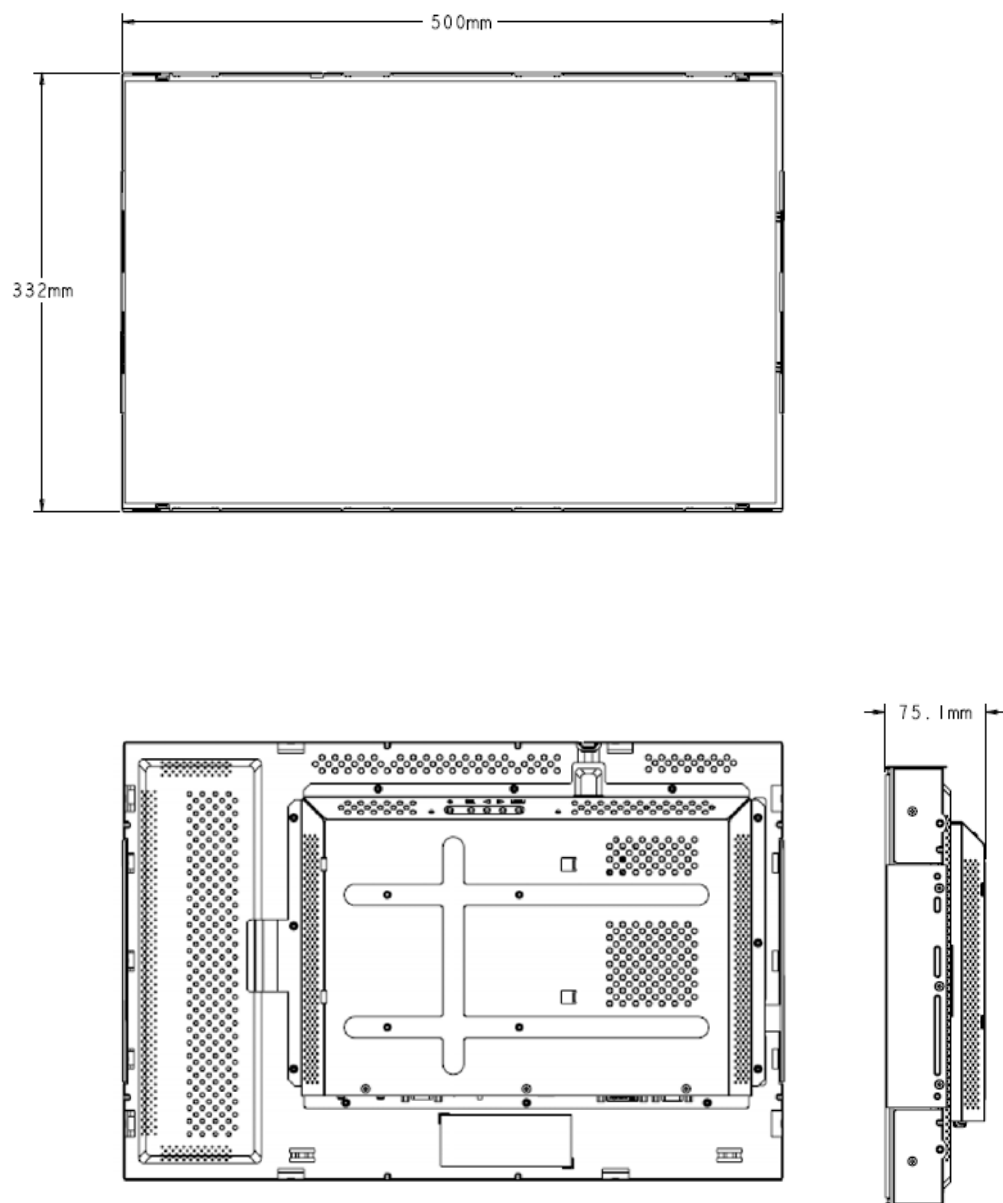
- 1 「**Start**(スタート)」>「**Run**(実行)」をクリックしてください。
- 2 「**Browse** (ブラウズ)」ボタンをクリックしてCD-ROMにEloCd.exe プログラムを検索してください。
- 3 「**Open**(開く)」をクリックして「**OK**」をクリックしてからEloCd.exeを実行してください。
- 4 スクリーンの指示に従ってお持ちのWindowsバージョンのドライバ設定をしてください。

モニターの外形寸法(インテリタッチモデル)



注:
詳細な機器図面はウェブサイトをご覧ください: www.elotouch.com

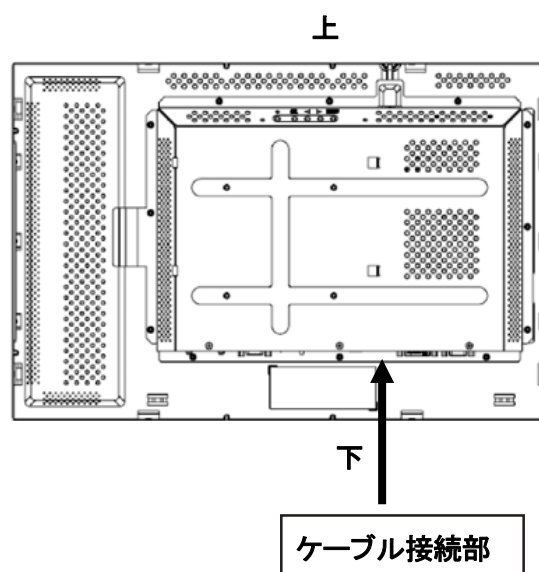
モニタの外形寸法(サーフェース・キャパシティブモデル)



モニターの設置方向

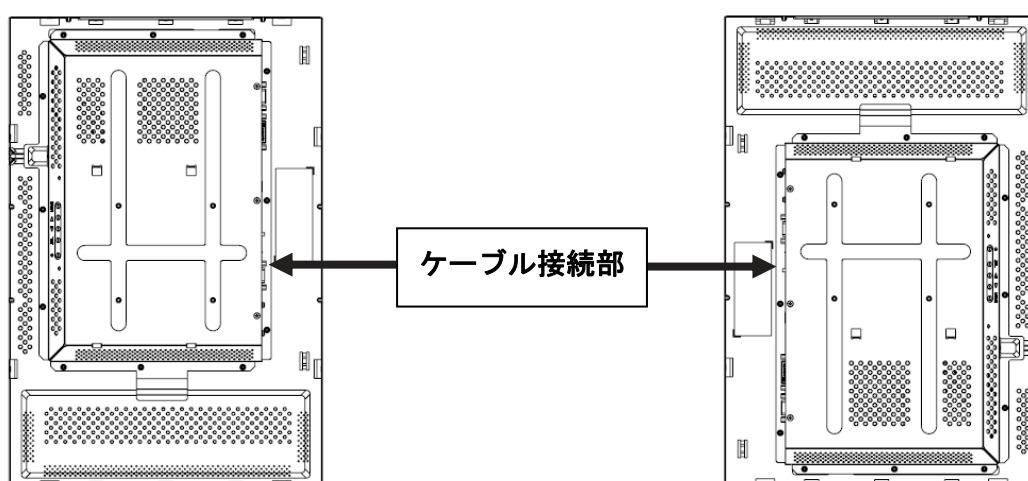
モニターが横方向に取り付けられている場合、下記の図解のようにケーブルの接続部が下に来るようにしてください。

モニターの背面図－横方向



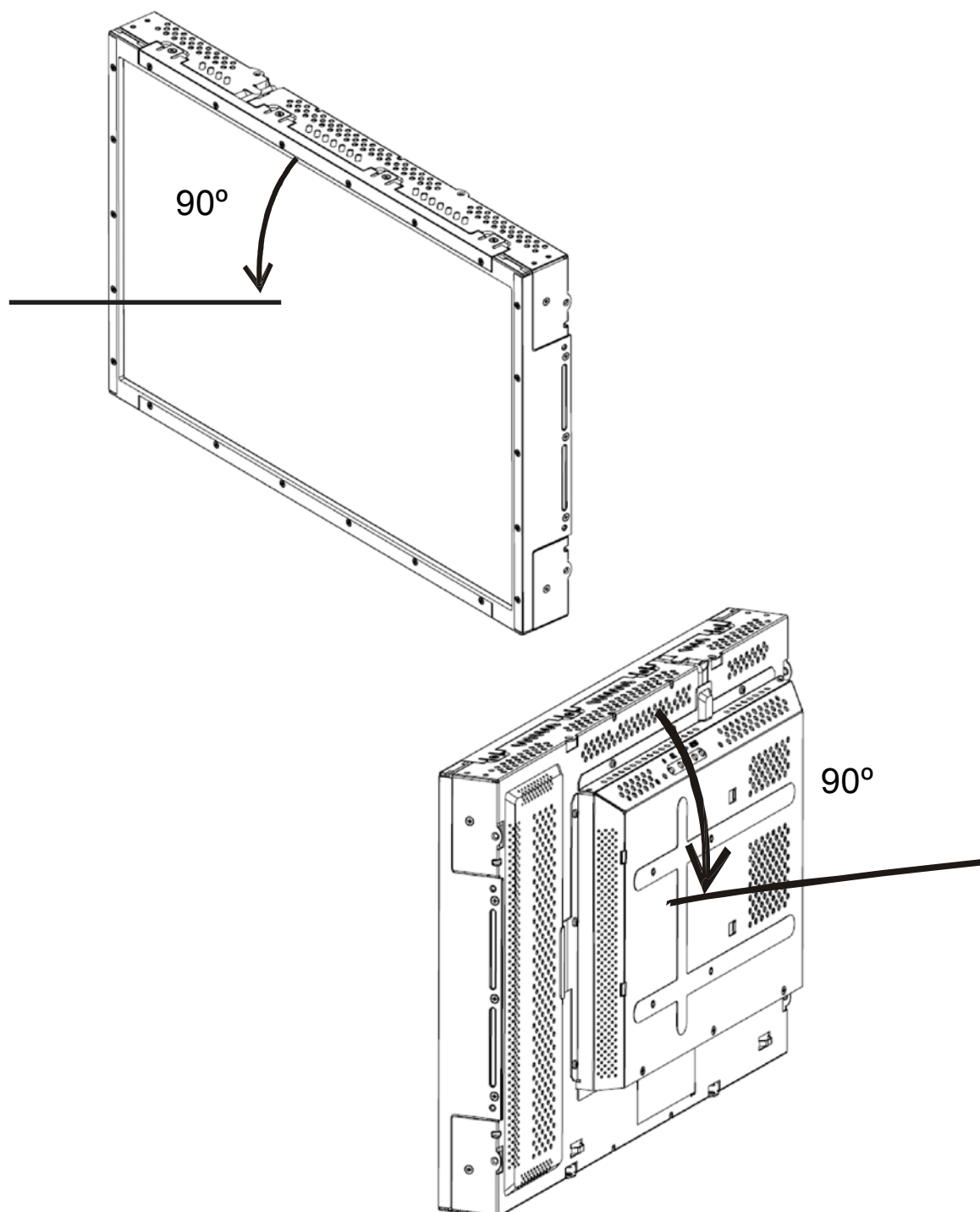
また、モニターを縦方向に取り付けることもできます。
縦方向に取り付ける場合は、ケーブルの接続部は下記の図のように左右どちら側でも可能です。

モニターの背面図－縦方向



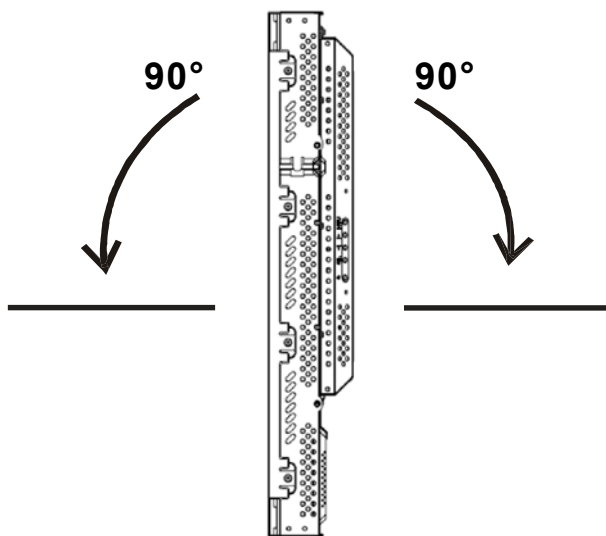
横方向取り付け角度

下図のように、取り付け角度は垂直から各90度まで可能です。



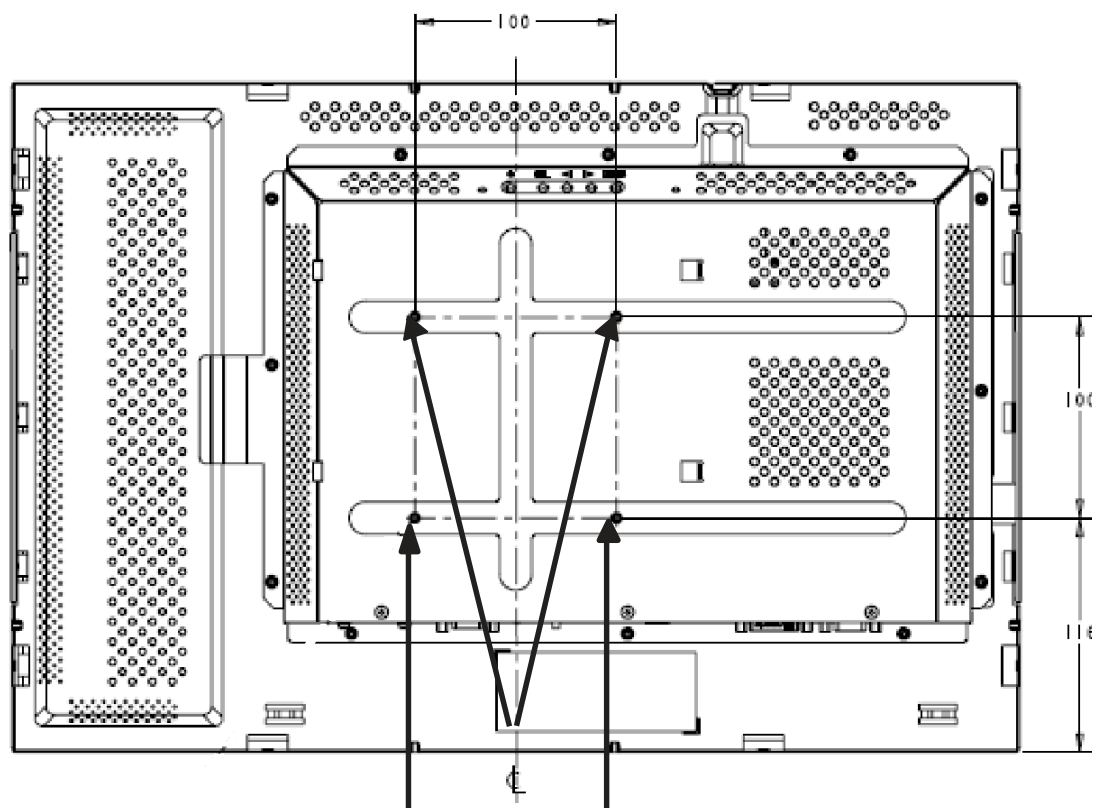
縦方向取り付け角度

下図のように、取り付け方向は垂直から各90度まで可能です。



モニターの設置と取り付け方向（続き）

100 mm VESAマウントへの取り付け—横方向



M4のネジ（長さ8mm）4個が別途必要です

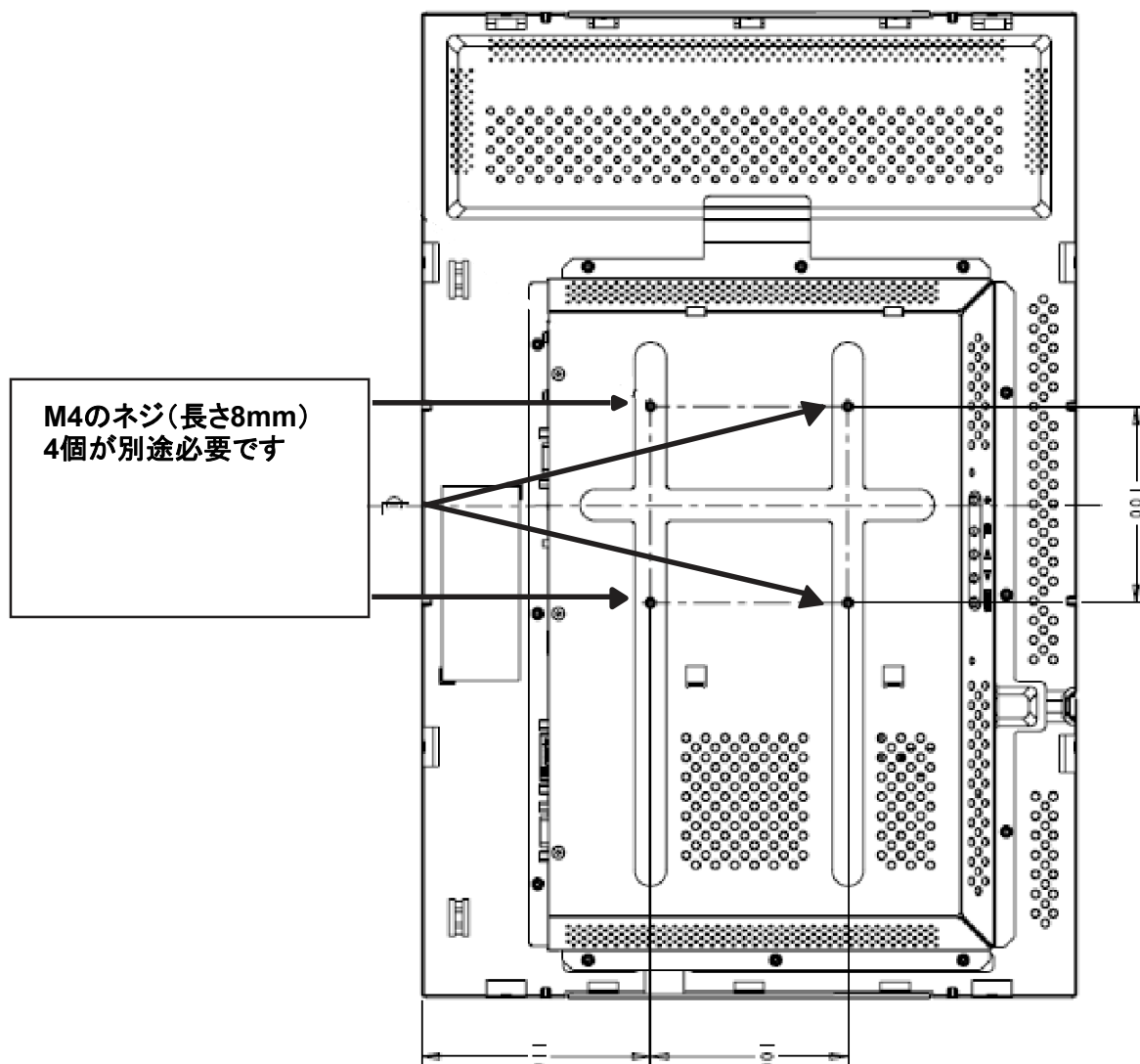
注:

寸法の単位はミリメートルです。

詳細な機器図面はウェブサイトをご覧ください: www.elotouch.com

モニターの設置と取り付け方向(続き)

100 mm VESAマウントへの取り付け—縦方向



注:

寸法の単位はミリメートルです。

詳細な機器図面はウェブサイトをご覧ください: www.elotouch.com

3

章

基本操作

タッチモニターの調節

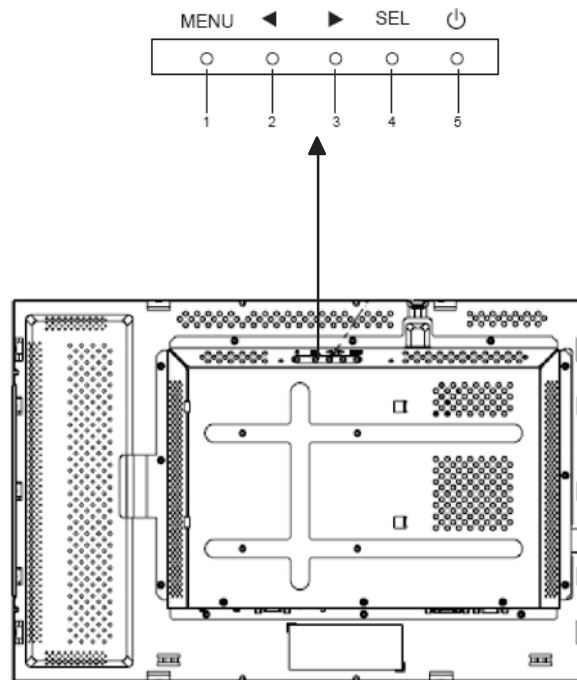
一般的にはタッチモニターの各調節は必要ありませんが、使用されるビデオボードやアプリケーションによって表示する画質を最適化するためにタッチモニターの調節が必要になる場合があります。

本液晶の画素数は 1680 X 1050 です。別の解像度で表示すると拡大表示するため、表示画面がぼやける場合があります。

プリセットモードにある信号が入力されると、モニターは自動的に調節しますが、表示できないモードの場合「Out Of Range」と表示されます。

注記:「Out Of Range」と表示された場合、タッチモニターを操作しないでプリセットモードの信号に変更して下さい。LCDが故障する場合があります。

オンスクリーンディスプレイ(OSD) 背面スイッチの場合



オンスクリーンディスプレイ(OSD)の背面スイッチのボタン調整によって、画面の設定を変更できます。下記の5つのボタンがあります：

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | MENU (メニュー) |
| 2 | ◀ |
| 3 | ▶ |
| 4 | SEL (選択) |
| 5 | ⏻ (電源スイッチ) |

オンスクリーンディスプレイ(OSD) 背面スイッチの場合(続き)

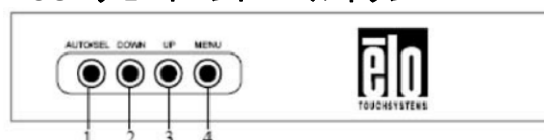
コントロール 機能

MENU (メニュー)	OSDメニューの表示／終了
◀	1) コントラスト調整メニュー表示 (OSDが表示されてない時) 2) 数値の+(アップ) 3) OSDを反対方向(左回り)に選択
▶	1) 輝度調整メニュー表示 (OSDが表示されてない時) 2) 数値の-(ダウン)
SEL	1) オートアジャスト(画面自動調整) (この機能はヨーロッパモデルでは使用できません) 2) 選択: OSDメニューから各項目を選択
⏻	モニタの電源スイッチ

注: 本モニターは、調整/変更した数値を自動的に保存します。

オンスクリーンディスプレイ(OSD) リモコン(オプション)の場合

OSDリモートコントロールボタン



オンスクリーンディスプレイ(以下:OSD)のコントロールによりモニターの各種設定が調整/変更できます。以下4つのボタンがあります。

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | AUTO/SEL (自動/選択) |
| 2 | DOWN (下へ) |
| 3 | UP (上へ) |
| 4 | MENU (メニュー) |

OSDメニュー機能

以下の機能にはコントロールボタンを使用してください:

コントロール	機能
MENU	OSDメニューの表示/終了
UP	1) コントラスト調整メニュー表示 (OSDが表示されていない時) 2) 数値の+(アップ) 3) OSDを反対方向に選択
DOWN	1) 輝度調整メニュー表示 (OSDが表示されていない時) 2) 数値の-(ダウン)
AUTO/SEL	1) オートアジャスト(画面自動調整) (この機能はヨーロッパモデルでは使用できません) 2) 選択: OSDメニューから各項目を選択

注: 本モニターは、調整/変更した数値を自動的に保存します。

OSD のロック/ロック解除

本製品は、OSD機能のロック/ロック解除が可能です。ロックされているときはOSD 画面を表示したり使用はできません。

※ 出荷時設定は「ロック解除」です。

OSDのロック/ロック解除方法:

- 1 「**MENU**(メニュー)」ボタンと「**UP** (上へ)」ボタンを2秒間押し続けてください。OSDがロックされ画面に「OSDロック」が表示されます。
- 2 再度2秒間押し続けると、OSDロックが解除され画面に「OSDロック解除」が表示されます。

電源のロック/ロック解除

電源をロック/ロック解除できます。電源がロック状態にあるときは、電源スイッチを押すだけではモニターの電源を切ることはできません。

※ 出荷時設定は「ロック解除」です。

電源のロック/ロック解除方法:

- 1 「**MENU** (メニュー)」と「**DOWN** (下へ)」ボタンを2秒間押し続けてください。電源がロックされ画面に「電源ロック」が表示されます。
- 2 再度2秒間押し続けると、電源ロックが解除され画面に「電源ロック解除」が表示されます。

注記: デフォルト設定で、30秒間何も操作されないとOSD 画面は消えます。

OSD調整項目

自動調整

- 表示画面が自動で調整されます

明るさ

輝度

- 輝度を調整します

コントラスト

- コントラストを調整します

映像の位置調整

横方向

- 画面上の映像を左右に移動できます

縦方向

- 画面上の映像を上下に移動できます

クロック

- 画像のクロックを調整します

位相

- 画像の位相を調整します

色合い

- 色温度を設定します。

入力信号の選択

- アナログ入力とデジタル入力の選択が可能です(アナログ専用モデルでは利用できません)。

OSDメニューの調整

OSDメニューの水平位置

- OSD メニューの水平位置を調整します。

OSDメニューの垂直位置

- OSD メニューの垂直位置を調整します。

OSDメニューの表示時間

- OSDメニューが表示されている時間を調整します。

言語選択

- 英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語の中からOSDメニューで使用する言語を選択できます

リコール

リコールカラー

- 色温度設定をデフォルト値に戻します

リコールデフォルト

- 言語以外の設定可能な項目（画像位置やクロック等）を工場出荷時の設定に戻します

その他

シャープネス

- 画像の鮮明度を調整します。

情報表示

- 入力されている同期信号の情報が表示されます。

表示モードのプリセット

入力信号が表付録Bに記載されているプリセットモードであれば、本モニターは自動的に画像のサイズ等を調整します。

OSDで表示位置、クロックおよび位相を調整する場合は、これらの変更がその表示モードに自動的に保存され、その表示モードを今後使用する場合にはその保存された設定値に調整します。「リコールデフォルト」を選択すると、現在使用しているビデオモードの工場出荷時の設定に戻します。

4

章

トラブルシューティング

以下のような場合は、故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。不具合が直らない場合はお買い求めの販売店か、サービスセンターまでご連絡ください。より詳しい内容は、弊社日本語ホームページ (<http://www.tps.co.jp>) の「サポート」の項をご覧ください。

よくある問題の解決方法

問題	解決方法/確認内容
システムを作動させてもモニターが起動しないあるいは画面に何も表示されない	モニターの電源スイッチがオンになっているか確認してください。電源を切って、モニターの電源コードや信号ケーブルが適切に接続されているか確認してください。
スクリーンの文字がぼやけて見える あるいは画面が明るすぎる／暗すぎる	オンスクリーンディスプレイ(OSD)コントロールについてのページを参照して輝度やシャープネスを調整してください。
画面が乱れている あるいは表示位置がずれている	信号ケーブルを確実に接続してください。 コンピュータの信号タイミングや映像出力レベルがモニターの仕様にあっていることを確認して、OSDにより画面調整してみてください。
画面に何も表示されない あるいはスクリーンが空白状態になる	映像信号がコンピュータから出力されていることを確認してください。 映像信号ケーブルが正しく接続されていること、及びコネクタやケーブルが破損していないことを確認してください。 コンピュータの省電力機能が作動して、操作中にモニターの画面が自動的に消えることがあります。省電力機能を解除し、画面が再表示されるか確認してください。 OSDにより輝度を調整してください

問題	解決方法
表示を再起動するとスクリーンがフラッシュする	モニターの電源をオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。
「Out Of Range」と表示される	映像信号がタッチモニターの表示可能範囲であるか確認してください。プリセットモードについての詳細は第3章および付録Bを参照してください。
タッチが作動しない	USBケーブルか、シリアルケーブルの両端がしっかりと取り付けられているか確認してください。 タッチパネルのドライバソフトがインストールされていることを確認してください。
タッチ位置がずれる	LCDタッチモジュール通電開始時（表示電源ON時ではありません）にタッチ面に何か接触させていないことを確認してください。 キャリブレーション（位置補正）終了後に表示設定を変更していませんか？ キャリブレーション（位置補正）は表示設定確定後に正しく行ってください。

以下は故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合がありますが、故障ではありません。
画面位置を正しく調整してご使用ください。
- 映像品質は、PC等からの映像信号の品質やケーブルに影響される場合があります。その場合リフレッシュレートを変更すると改善される場合があります。
付属以外の映像信号ケーブルを用いたり、映像信号に分配器や中継基板を用いる場合は、映像に乱れが発生する可能性がありますので、予めシステムでの検証を行ってご使用ください。
- LCDタッチモジュールは、表示する色や明るさにより微少な斑点およびむらが見えることがありますが、故障ではありません。
- コンピュータのBIOSによっては、省電力機能で、タッチパネルが動作しなくなる場合があります。
- お客様のシステムのディスプレイドライバやBIOS等が変更された場合、映像品質に影響がでる場合がありますので、システムでの変更がある場合は、予め検証を行ってご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがありますが、故障ではありません。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像（焼き付きのような症状）が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。
 - ・画面の表示パターンを変える
 - ・数時間電源を切っておく
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、修理のためお買い上げの販売店、またはタッチパネル・システムズ株式会社へご連絡ください。

詳しくは販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社までお問い合わせください。



使用上のご注意

この付録にはタッチモニターの適切な設定方法やメンテナンスなどの重要な情報が記載されています。

- 1 感電の危険を少なくするために、安全に関する警告に従ってください。
タッチモニターは絶対に分解しないでください。
- 2 クリーニングする前に製品の電源をオフにしてください(製品のクリーニング方法については次ページの *タッチモニターのお手入れ／取り扱い* を参照ください)。
- 3 お買い上げいただいたタッチモニターには、アース付き3ピン電源コードが付属しています。電源コードのプラグはアース付きコンセントにのみ適合します。本来の目的に沿って設定されていないコンセントにプラグを差し込まないでください。
キズを受けた電源コードは使用しないでください。
付属の電源コードだけを使用してください。付属以外の電源コードを使用された場合、保証外となることがあります。
- 4 タッチモニターの側面や背面には通風孔があります。
これをふさいだり、異物を差し込んだりしないでください。
- 5 タッチモニターが濡れないように十分に注意を払ってください。モニターに異物または水などの液体が入った場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社にご連絡ください。

タッチモニターのお手入れ／取り扱い

Elo タッチモニターをお手入れする場合、以下の点にご注意ください。

- 感電の危険を避けるため、タッチモニターを分解しないでください。
お客様にて本製品の修理を行わないでください。クリーニングの際には、
タッチモニターの電源プラグを抜いてから行ってください。
- アルコール(メチル、エチル、イソプロピル)など溶解力の強いもの
を使用しないでください。シンナー、ベンジン、研磨剤、圧縮空気、
ワックス、酸性、アルカリ性の溶剤を使用しないでください。
- 表示ユニットのキャビネットをクリーニングする際には、中性洗剤で
軽く湿らせた布を利用してください。キャビネットにゴムやビニール
製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質するな
どの原因となります。
- タッチモニターの内側に液体が入らないようにしてください。液体が内側に
入ってしまった場合は、販売店または弊社までご連絡ください。そのまま使
用すると火災や感電または故障の原因となります。
- タッチパネルを傷つけることがあるので、硬いものでこすったり、ひ
つかいたりしないでください。また、硬い布やスポンジで拭かない
でください。
- タッチパネルをクリーニングする際は、窓ガラス用洗剤かガラス磨きスプ
レーを使用してください。布に洗剤をつけてからタッチパネルを拭いてくだ
さい。絶対に、直接洗剤をタッチパネルにスプレーしないでください。



警告

本製品は水銀が含まれている部材を使用していますので、本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください(本装置ではモニター表示内のバックライトランプに水銀が含まれています)。

電気装置および電子装置の破棄(WEEE)指令



欧州連合では、本ラベルは「本製品は家庭廃棄物として処理してはならない」という意味を示しています。修理やリサイクルのために適切な施設に処理してください。

付録

B

製品仕様

製品仕様

モデル	2240L
LCD方式	22.0型TFTアクティブマトリクスパネル
表示サイズ	473.76(H) x 296.1(V) mm
画素ピッチ	0.282(H) x 0.282(V) mm
プリセットモード	640 x 480 @ 60Hz
	640 x 480 @ 66Hz
	640 x 480 @ 72Hz
	720 x 350 @ 70Hz
	720 x 400 @ 70Hz
	800 x 500 @ 60Hz
	800 x 600 @ 56Hz
	800 x 600 @ 60Hz
	800 x 600 @ 72Hz
	832 x 624 @ 75Hz
	1024 x 768 @ 60Hz
	1024 x 768 @ 65Hz
	1024 x 768 @ 72Hz
	1024 x 768 @ 75Hz
	1152 x 864 @ 75Hz
	1280 x 768 @ 65Hz
	1280 x 960 @ 60Hz
	1280 x 1024 @ 60Hz
	1280 x 1024 @ 75Hz
	1360 x 768 @ 60Hz
	1366 x 768 @ 60Hz
	1600 x 1200 @ 60Hz
	1680 x 1050 @ 60Hz
画素数	1680 x 1050
コントラスト比	1000:1 (標準値)
輝度	インテリタッチ: 270 cd/m ² (標準値)
	APR: 270 cd/m ² (標準値)
	サーフェース・キャパシティブ: 249 cd/m ² (標準値)

応答時間	約16 ms(標準値) G to G(中間色) 約6ms
表示色数	1,677万色
視野角(コントラスト10以上)	垂直 : ±89°(標準値) 水平 : ±89°(標準値)
映像入力信号	- アナログRGB信号 (0.7V p-p/75Ω) - 同期信号 : セパレート、コンポジット、Sync-On-Green - デジタル映像信号 DVI規格Rev.1.0準拠
同期信号周波数	水平周波数 : 30～75 KHz 垂直周波数 : 56～75 Hz
映像信号コネクタ	アナログ : ミニD-Sub15ピン(メス) デジタル : DVI-D24ピン(メス)
プラグ & プレイ機能	VESA DDC2B
タッチパネル方式	超音波表面弾性波方式 (インテリタッチ)、 音響波照合方式(APR)、 静電容量方式(サーフェース・キャパシティブ) のいずれかを搭載
入力電力	AC100–240V、50/60Hz
動作保証範囲	温度 : 0°C～40°C 湿度 : 20%～80% (結露なきこと) 高度 : 0～3,658 m
保存保証範囲	温度 : -20°C～50°C 湿度 : 10%～90% (結露なきこと) 高度 : 0～12,192 m
外形寸法(HxWxD)	352 x 530 x 78 mm
重量	約8.5 kg (本体) 約12.6kg (梱包時)

規制情報

I. 電気安全情報:

- A) メーカーのラベルに記載の電圧、周波数など、必ず最新要件を順守してください。規定の電源と異なったものを接続するなど要件に従わない場合、不適切な稼働、装置への損傷、保証の無効、火災の原因を招く恐れがあります。
- B) 本装置内にはユーザが修理できる部品はありません。本装置が生じる危険電圧があり、安全上の問題を招く恐れがあります。修理は資格があるサービス技術者のみが行ってください。
- C) 本装置には取り外し可能な電源コードがあり、安全用接地コンセントに接続する安全アース線がついています。
 - 1) 指定のコード以外は使用しないでください。2ピンのコンセントにアダプタプラグを接続すると、接地ワイヤの導通を無効にしますのでどのような場合でも使用しないでください。
 - 2) 安全認定の一部として装置はアース線の使用を義務付けています。装置の改良あるいは誤用により感電を招く危険があり、重傷を負ったり死に至る場合があります。
 - 3) インストールについて質問がある場合は、主電源に装置をつなぐ前に資格のある電気技師あるいはメーカーに連絡してください。

II. 放射および電磁波耐性情報

- A) 米国内のユーザに対する通知: 本装置はFCC規則第15章に定められたクラスBデジタル装置に関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。これらの規則要件は、住宅や商用で設置した場合に有害な妨害から妥当に保護するためのものです。指示に従って本装置を取り付け、使用しなかった場合、電磁波を発生・使用し、外部に放射することがあり、無線通信に有害な混信を招く恐れがあります。

B) カナダのユーザに対する通知: 本装置はカナダの無線妨害規制で定められたデジタル装置から放出される電波雑音に関するクラスBに適合しています。

C) 欧州連合のユーザに対する通知: 装置に付属の電源コードと相互接続ケーブルだけを使用してください。規定のコードやケーブル以外を使用すると下記の規格規定の電気安全、放出あるいは電磁波耐性に関するCE認証マークを損なう可能性があります: 本情報処理装置 (ITE) はメーカーのラベルにCE認証マークを貼付するように義務付けられており、下記の指示および基準に従って検査されたことを意味します:

本装置は欧州規格EN 55022クラスB記載の「EMC指示89/336/EEC」および欧州規格EN 60950に記載の「低電圧条項73/23/EEC」に基づいてCE認証マークの要件に従って検査されました。

D) すべてのユーザに対する一般情報: 本装置は無線周波エネルギーを発生・使用し、放射することがあります。本書に従って本装置を取り付けたり使用しなかった場合は、無線通信およびテレビ通信の電波妨害を引き起こす可能性があります。しかしながら場所によって妨害の原因が異なるため、特定の場所によっては妨害が起きないという保証はありません。

1) 放射および電磁波耐性の要件に見合うため、ユーザは下記事項を順守してください:

a) 本デジタル装置とコンピュータを接続する場合は、付属のI/Oケーブルのみを使用してください。

b) 要件を順守するために、メーカー指定の電源コードのみを使用してください。

c) 要件順守の責任がある当事者によって明確に承認されていない装置の変更・修正をすると、ユーザが装置の操作権利を失う可能性があることに注意してください。

2) 本装置がラジオあるいはテレビ受信、あるいはその他の装置の受信妨害を引き起こす原因であると思われる場合:

a) 装置の電源をオフ/オンにして放射元を確認してください。

b) 本装置が妨害元であると確認される場合は、下記のいずれかの方法で妨害ないように修正してください:

- i) 妨害を受けたレシーバーからデジタル装置を離す。
- ii) 妨害を受けたレシーバーに対してデジタル装置を再配置する(向きを変える)。
- iii) 妨害を受けたレシーバーのアンテナの向きを変える。
- iv) デジタル装置とレシーバーの分岐回路が異なるようにデジタル装置を違うACコンセントに差し込む。
- v) デジタル装置が使用しない一切のI/Oケーブルの接続を切るか、取り外す。(I/Oケーブルの接続を切ると、電波周波数の放出レベルを増加する可能性があります。)
- vi) デジタル装置を接地コンセントのみに差し込む。ACアダプタープラグを使用しないこと。(接地したラインコードを取り外したり切ったりすると無線周波数の放出レベルを増加する可能性があります。また、ユーザに致死的な感電の危険を及ぼす可能性もあります。)
- vii) さらに援助が必要な場合は、ディーラー、製造業者、ベテランの無線あるいはテレビ技術者に相談してください。

E) 日本のユーザに対する通知:

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

III. 安全ラベル

下図に示すように、下記のマークは装置の安全ラベルに表示されています。



ご使用の前に

警告表示について

本書では次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	使用している絵記号の意味  △は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容が描かれています。(例：△ 感電注意)
 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	 ○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。(例：⊘ 分解禁止)  ●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容が描かれています。(例：● 電源プラグを抜く)

安全にお使いいただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

 **警告**

万一、異常が発生したら



電源プラグを抜く

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

改造しない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、改造を行うと火災や感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理は、販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社に依頼ください。

異物を入れない



禁止



電源プラグを抜く

LCDタッチモジュールの通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とさないようにしてください。火災や感電または故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社に連絡ください。



警告

花びんやコップをLCDタッチモジュールの近くに置かない



禁止



電源プラグを抜く

水やその他の液体、溶剤の入った容器をLCDタッチモジュールの近くに置かないようにしてください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となることがあります。

万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止



電源プラグを抜く

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないようにしてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。

万一、LCDタッチモジュールを落とした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

水のある場所で使わない



水場での使用禁止

浴室や洗面所など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないようにしてください。火災や感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードの上に重い物をのせたり、LCDタッチモジュールの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。コードが傷んだらすぐに販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社に交換をご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグおよびコンセントなどに触れないようにしてください。落雷し、感電や火災の原因となることがあります。



警告

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグおよびコンセントなどに触れないようにしてください。落雷し、感電や火災の原因となることがあります。

廃棄する場合は一般の廃棄物と一緒にしない



禁止

ごみ廃棄場で処分されるごみの中に液晶ディスプレイを捨てないでください。使用しているバックライト（蛍光管）の中には水銀が含まれていますので、廃棄にあたっては地方自治体の条例、または規則に従ってください。



注意

置き場所を選ぶ



禁止

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く

通風孔をふさがない



禁止

次のような使い方はしないでください

- × 仰向けや横倒し、逆さまにする
- × 押し入れ、本棚など風通しの悪いせまい所に押し込む
- × じゅうたんや布団の上に置く
- × テーブルクロスなどをかける

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、タッチモニターは周囲から10cm以上離して置いてください。

筐体などに組込まれる場合はファン等を設け、熱がこもらないようにしてください。

プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



注意

移動させるときは、外部の接続コードをはずす



禁止

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。

旅行などで長時間使わないときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

コンピュータの上にタッチモニターを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないようにしてください。感電の原因となることがあります。

付属の電源コードケーブルは本機以外に使わない



禁止

付属のAC電源ケーブル及び電源変換アダプタ（3ピン-2ピン）は、本製品にのみご使用願います。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cm離れたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

筐体やケースに組込む場合の注意

本機を筐体やケース内に入れて使用される場合は、LCDタッチモジュールの周囲温度が使用範囲を外れることがないように設計してください。冷却ファンなどを適切な位置に使用されることをおすすめします。

用途制限について

本製品は、人の生命に直接関わる装置および公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置を含むシステムに使用できるよう開発・製作されたものではありませんので、それらの用途には使用しないようにしてください。

アフターサービス

保証書／保証期間について

■本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。

■保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■保証期間は本体お買い上げ日より3年間です。また中古販売の製品については3年間の保証は適用されません。

修理サービス

■「困ったとき」でチェックしても症状が解消されない場合、お買い上げの販売店名またはタッチパネル・システムズ株式会社へご連絡ください。

■修理や点検のためタッチモジュールを輸送される時は、専用の梱包箱、梱包材をご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、タッチモジュールが破損したり、故障の原因となることがあります。なお、この事由による修理は保証期間内であっても有料となります。お手元に専用の梱包材がない場合は、送付前に必ずタッチパネル・システムズ株式会社までご連絡ください。

■本製品の修理対応は製造終了後5年となっております。ただし故障箇所によっては修理不可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社にご相談ください。

廃棄について

■本製品を、ごみ廃棄場で処理される一般のごみと一緒に捨てないでください。本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

保証

特に指定のない限り、あるいは買い手に対する受注承諾がない限り、売り手は製品の材質や仕上がり欠陥がないことを買い手に保証します。随意保証期間を除いて、タッチモニターおよび製品部品の保証は3年間とします。

売り手はモデル部品の寿命についての保証はしません。売り手の供給者は、常時および時折、製品として出荷した部品の変更を行うことがあります。上記の保証に適合する製品の不具合が発見した場合、売り手は買い手に対して迅速に(どのような場合でも発見から三十(30)日以内に)書面にて通知しなければなりません。通知には、そのような不具合に関する状況など商用的に適度な詳細を記述しなければなりません。また、可能な場合は、売り手はインストールした製品の検査を行わなければなりません。売り手による書面の指示があった場合を除いて、通知はそのような製品の保証期間内に売り手が受領する必要があります。そのような通知を送付してから三十(30)日以内に、買い手は不良品であるとされている製品を受領時の出荷用ダンボール箱、あるいは機能的に同等のものに梱包して買い手の費用および危険負担で売り手宛に発送しなければなりません。

不良品であるとされている製品を受領してから、および売り手が上記の保証を製品が満たしていないという確認をしてから適度な期間内に、売り手は (i) 製品の修理あるいは変更、(ii) 製品の交換のどちらかの方法によってそのような不良品を修正しなければなりません。製品のそのような変更、修理、交換、および返却する際には買い手に対して最低の保険を含み、費用は売り手側が支払うこととします。製品発送中に起きる紛失あるいは損傷の危険は買い手が負い、買い手はその製品に保険をかけることができます。買い手は製品の返品にかかった郵送料を売り手から払い戻し請求できますが、売り手が不良品でないと判断した場合は払い戻し請求はできません。売り手が上記の保証に適合した製品の変更、修理、交換を提供できない場合は、売り手は売り手のオプションによって製品購入価格から買い手が提示する保証期間の定額減価償却を差し引いた額を買い手に払い戻しするか、買い手の口座に入金する必要があります。

これらの救済措置は保証不履行が起きた場合の買い手専用の救済措置とします。上記に明示されている保証を除いて、売り手は製品の目的適合性、品質、商品性、権利を侵害していないことなどの点を含む明示または暗示の保証を認めません。売り手の従業員、あるいはいかなる当事者も本書に記載の保証以外は商品の一切の保証をしてはなりません。保証に基づく売り手の負担は製品の購入価格を払い戻しすること限定します。いかなる場合も売り手は買い手が購入、あるいは取り付けた代替品の価格、あるいは一切の特別な、誘発的、間接的、偶発的な損傷などの責任を負いません。

買い手は危険要素を前提とし、(i) 買い手の製品の使用目的に対する適合性、一切のシステム設計あるいは製図の評価、(ii) 買い手が使用する製品の適用法、規制、規約、標準規格に対する順守の判断、などに関するすべての責任から補償しかつ無害に保つことを補償し同意します。買い手は、売り手が製造、供給した製品、部品を含むあるいは盛り込むすべての保証およびその他の請求に対するすべての責任を保持しかつ受理します。買い手は買い手が認可する製品に関する一切かつすべての言明事項、保証に対する唯一の責任を負います。買い手は売り手を補償し、買い手の製品、言明事項、保証に起因する一切の負債、請求、損失、価格、費用など(妥当な弁護士料金を含む)同様のものに対して損害を売り手に与えません。

保証書

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

本保証書は、本記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。本保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから必ず型名、製造番号、お買い上げ日、お客様名、ご住所、電話番号、販売店名の記入をご確認ください。

型番	製造番号
保証期間 3年間	お買い上げ日
お客様名	
住所 〒	
TEL.	
販売店名	担当者
住所 〒	
TEL.	

<保証条件>

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきタッチパネル・システムズ株式会社が無償修理します。
- 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社に製品と保証書をご提示の上依頼してください。
尚、製品を発送される場合の送料はお客様のご負担となりますのでご了承ください。
- 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、弊社はその責任を負わないものとします。
- 保証期間内でも次のような場合は有償修理となります。
 - 保証書をご提示されないとき。
 - 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
 - お買い上げ後の輸送、移動時のお取扱いが落下等不適当なため生じた故障または損害。
 - 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取扱いによって生じた故障または損害。
 - CRT、バックライトは消耗品のため、その交換が必要な場合（特に同一画面を長時間表示し続けると焼付の原因となります。この場合スクリーンセーバー等で事前防止をお勧めします）。
- 本保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社までお問い合わせください。

タッチパネル・システムズ サポートセンター

■月曜日～金曜日（但し、弊社指定休日は除く）9:00～12:00、13:00～17:00

TEL 03-5464-5835 / FAX 03-5464-5478

保守契約につきましてはタッチパネル・システムズ株式会社 営業部までお願いいたします。

■月曜日～金曜日（但し、弊社指定休日は除く）9:00～12:00、13:00～17:00

TEL 045-478-2161 / FAX 045-478-2180

www.elotouch.com

最新情報をご覧ください

- 製品情報
 - 仕様
 - 次回イベントに関するニュース
 - プレスリリース
 - タッチパネルドライバソフト
 - タッチモニター(ニュースレター)
-

Elo TouchSystemsの連絡先

Elo TouchSystemsのタッチソリューションに関する詳細については、弊社のウェブサイト www.elotouch.com をご覧ください。
たたくか、最寄りのオフィスまでご連絡ください。

北米

Elo TouchSystems
301 Constitution Drive
Menlo Park, CA
94025
USA

(800) ELO-TOUCH
(800) 356-8682
電話 650-361-4800
Fax: 650-361-4747
eloinfo@elotouch.com

ドイツ

Tyco Electronics Raychem GmbH
(Elo TouchSystems Division)
Finsinger Feld 1
D-85521 Ottobrunn
Germany

電話 +49 (0)(89) 60822-0
Fax: +49 (0)(89) 60822-180
elosales@elotouch.com

ベルギー

Tyco Electronics Raychem N.V.
(Elo TouchSystems Division)
Diestsesteenweg 692
B-3010 Kessel-Lo
Belgium

電話 +32 (0)(16) 35 21 00
Fax: +32 (0)(16) 35 21 01
elosales@elotouch.com

アジア太平洋

Touch Panel Systems K.K.
Sun Hamada Bldg. 2F
1-19-20 Shin-Yokohama
Kanagawa 222-0033
Japan

電話 +81 (45) 478-2161
Fax: +81 (45) 478-2180
www.tps.co.jp

